

【CYCLE MODE TOKYO 2022】

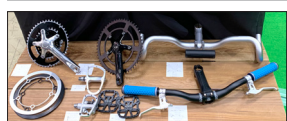
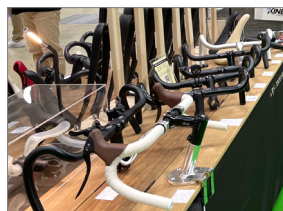


4月2-3日(土-日)に東京ビッグサイトで開催されたサイクルモード東京、3月にはサイクルモードライド大阪が開催されましたが、関東での大規模自転車展は2019年の幕張開催以来。その間の社会情勢の変化は推して知るべしですが、自転車界

の流れも変化が激しい期間だったと言えます。そんな変化の中、小さな二小間で厳選した製品のみを出展した当社ブースを振り返ります。手掛かりとなる言葉は…「楽しみに型は無い、感じること」。多様な楽しみを自然で自由に受け入れる潮流をお客様から感じた展示会でした。



▲カーボン製品が中心の OnebyESU では、2019 年の幕張で発表したハンドル「ジェイカーボン マホラ&スエヒロ」(Vol.29 掲載) が特に注目され、個性的形状に対する抵抗感から、使ってみたいなという眼差しに変化してきた様子で、多くの方が手に取って感触確かめられていました。



▲ハンドルを中心に展示した Dixna シリーズ。実物を触って分かる製品、例えば 2 ポジション操作可能な補助ブレーキレバー「ジェイクルーレバー」(Vol.37 掲載) など、装着例で快適機能を体感し製品を知っていただけることは我々としてもとても有難い機会です。



◀今展で初発表の「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」は、情報を記したカードを配布。下段に紹介の通り製品に触れていただける機会も作る予定です。

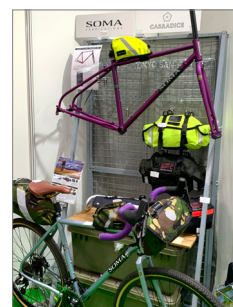
～ Don't think ! Feel. ～



▲grunge は人気の MTB 系製品、VIVA はロングセラー製品に Y/B カラーの T シャツ。



▲Veno 製品と KINEKT (下段参照)、RITCHEY フレームには ZEFAL バッグを装着。



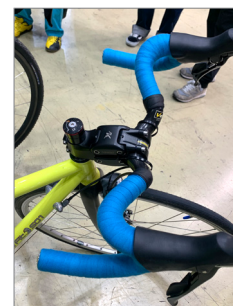
▲センス溢れる製品 SOMA と CARRADICE のコーナーではバイクパッキングシリーズが注目。



▲女性向け Terry と rocogowa も商品に触れて頂くことで魅力を感じていただけたようです。



▲rocogowa の「ロコ手ぬぐい」豆はちみつと豆天色で、願いを込めたあずま袋を手作り。



▲KINEKT サスペンションと Veno ボードレスの話題アイテムを装着した試乗車も人気。



◀ Veno リリーパーはその個性から初めて目にされた方からの注目も高く大小 2 台の試乗車に装着。



◀お隣ブース「CHAPTER2」の Glen Gypsy さんは愛車に「Pちゃんサドル」(Vol.24 掲載) をセッティングされていました。



試乗車で機能を体感いただいた「KINEKT (キネクト)」。

アフリカのウガンダで平和活動をしていた Paul Barkley 氏が、自転車を活用していた時に思い立ち創業 (2010 年) したアメリカのメーカーです。前後サスペンション機能をメンテナンスフリーで手軽に得られ、平行四辺形 (パラレルグラム) に動くことで、路面からの振動を吸収しハンドリングやペダリングへの悪影響を抑える設計です。会場では愛用の方から「手首と腰痛から長距離を断念していたが、KINEKT を装着し長距離も可能となり、結果として健康体を取り戻せた」と喜びの言葉をいただきました。

SAN-ESU BASE 羽根倉通り

サンエスペース はねくり通り

2022 年夏、埼玉県秋ヶ瀬公園の川向い、志木市の荒川沿いに「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」をオープンします。BASE では週末 (不定期) にソフトクリーム店「KURU (クル)」を開きます。また、当社の自転車製品に触れていただけるスペースと機会も設ける予定です。どなたでも気軽に立ち寄っていただける憩いと体感の空間を目指しています。



▲気軽にクル、そんな「KURU」にしたいと思っています。

